

国民健康保険傷病手当金支給申請書（医療機関記入用）

医療機関担当者が意見を記入する用紙	患者氏名	掛川花子		被保険者証 記号番号	7 6 5 4 3 2 1	
	傷病名	新型コロナウイルス感染症による呼吸器疾患（肺炎）		初診日	令和2年5月4日	
	発病年月日	令和2年5月4日		発病の原因	不詳	
	労務不能と認められた期間	令和2年5月4日から 令和2年6月10日まで				
	うち、 入院期間	令和2年5月4日から		療養費 の種別	<input type="checkbox"/> 国保 <input checked="" type="checkbox"/> 公費（ ） <input type="checkbox"/> 自費 <input type="checkbox"/> その他	
		令和2年5月28日まで		転帰	<input checked="" type="checkbox"/> 治癒 <input type="checkbox"/> 中止 <input type="checkbox"/> 繰越 <input type="checkbox"/> 転医	
	診療日及び 入院していた日を○で 囲んでください。	令和 2年5月	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	診療実日数	25日	
		令和 2年6月	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	診療実日数	3日	
		令和 年 月	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31	診療実日数	日	
	上記の期間中における「主たる症状及び経過」「治療内容、検査結果、療養指導」等（詳しく）					
<p>新型コロナウイルス感染症感染の疑いのため、5月4日に初診。検査の結果「陽性」であり、肺炎の症状が見られたため同日入院。3週間程度で症状の改善が見られ5月28日退院。その後2週間の自宅療養。</p>						
手術年月日	令和 年 月 日	退院年月日	令和 2年 5月 28日			
<p>症状経過から見て従来の職種について労務不能と認められた医学的な所見</p> <p>新型コロナウイルス感染症による肺炎の症状による入院治療を行い、検査の結果「陰性」による退院後、2週間の経過観察の期間は労務不能と判断した。</p>						
<p>令和 2年 6月 25日</p> <p>上記のとおり相違ありません。</p>						
医療機関の所在地	掛川市 ☆☆ XXXX番地					
医療機関の名称	国保総合病院					
医師の氏名	国保花子	Ⓜ	電話番号	0537-99-99XX		

注意 該当者が、医療機関等を受診しないまま体調が改善した場合等には、国民健康保険傷病手当金支給申請書（被保険者記入用）[様式5の2]にその旨を記入するとともに、記載内容を事業主が確認し、事業主に証明していただくことでこの様式の提出は不要となります。